

令和4年度

都立病院 臨床研修医 募集案内

都立広尾病院

都立大塚病院

都立駒込病院

都立墨東病院

都立多摩総合医療センター

都立松沢病院

TOKYO
METROPOLITAN
HOSPITAL

 東京都

TOKYO METROPOLITAN HOSPITAL

都立病院の

初期臨床研修

01

基本的診療能力の修得をベースとしたプログラム

都立病院では、臨床研修の基本理念※を遵守した研修プログラムを用意しています。また、必修科目については、全てのプログラムで内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修研修とし、それらの分野の到達目標が達成されるように病院ごとにプログラムを立案しています。目標が達成されていることの確認に研修評価を実施しています。

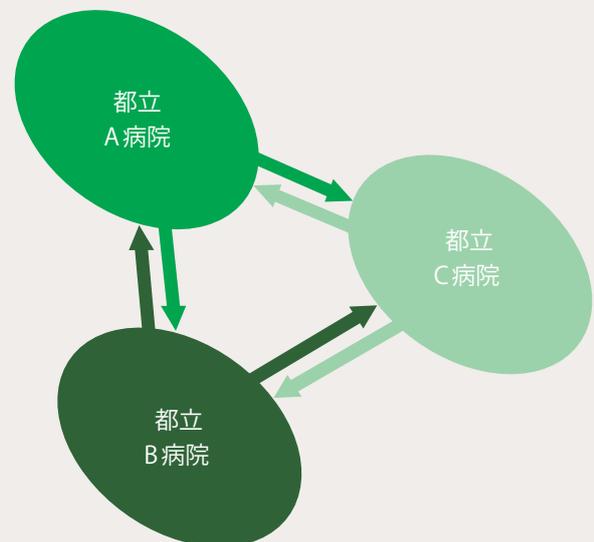
※臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

02

病院の特色を活かしたプログラム

初期臨床研修を実施している6病院では、それぞれの特色を活かした魅力ある研修プログラムを用意しています。研修プログラムの詳細については、各病院のホームページをご覧ください。また、臨床研修病院間では右図のような連携体制を構築しており、その結果として各病院の特色を活かした魅力ある研修プログラムが可能になっています。必要に応じて複数の病院で研修を行うことが特徴のひとつです。

※採用選考及びマッチングの希望順位登録は病院ごとに行います。





03

東京医師アカデミーとの 整合性を重視したプログラム

基本的な診療能力を土台とし、さらに総合診療能力を兼ね備えた専門医を育成する専門医受験資格取得等を目的とした東京医師アカデミーの研修プログラム（3ページ参照）と整合性を持たせた研修プログラムを用意しています。専門医受験資格取得は東京医師アカデミーの目的の一つになっています。

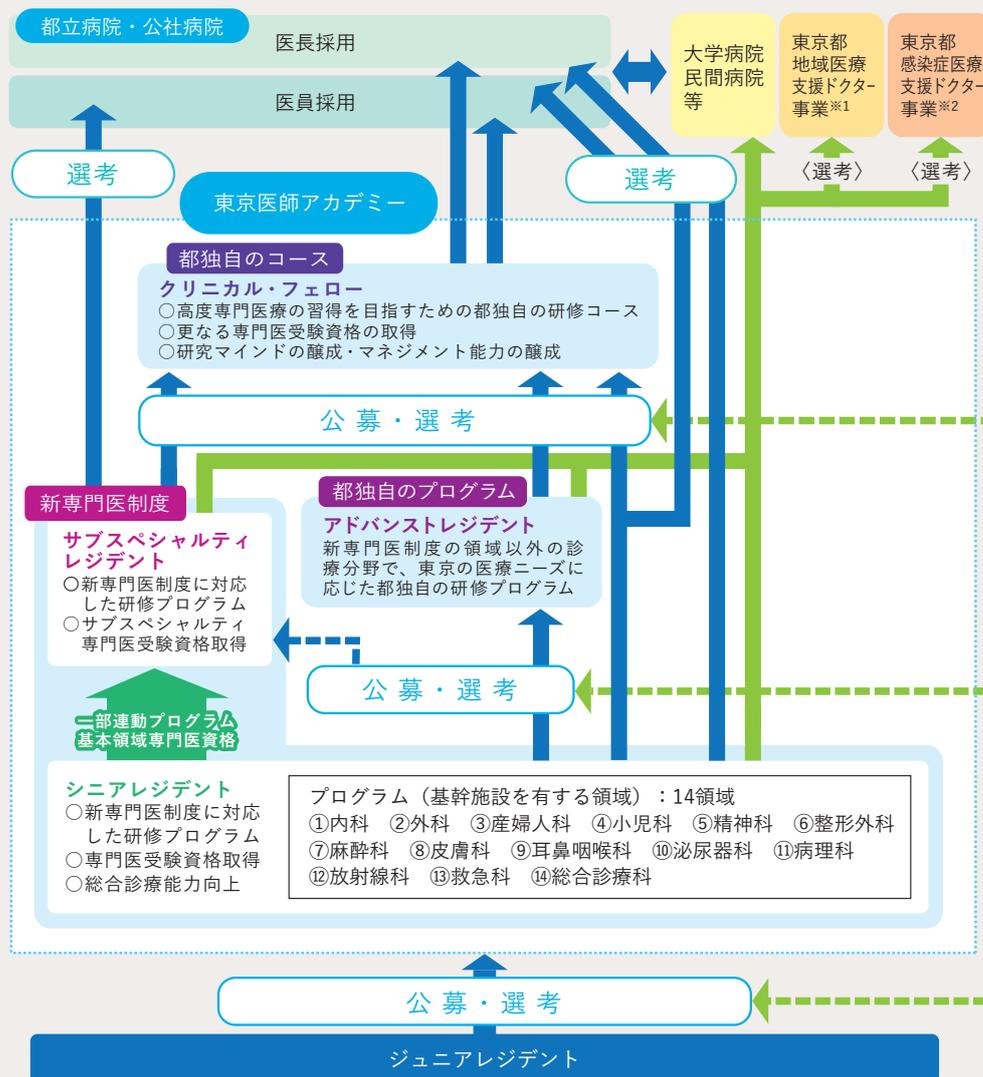
04

研修成果の発表、 指導医と研修医の交流

毎年3月頃に、都立病院、東京都保健医療公社病院の各病院代表レジデントが研修成果を発表し、指導をおおぐ「ジュニアレジデント合同発表会」を開催しています。この発表会は、研修医が臨床研修の成果を発表することにより、お互いに医師としての視野を広げることを目的としています。

都立病院は現在8病院(普通病院6、小児病院1、精神科病院1)あり、そのうち6病院で、初期臨床研修を実施しています。2年間の基本的診療分野の研修後、希望者は選考により、「東京医師アカデミー」の体系の中で、専攻医として、専門医受験資格取得等を目的とした専門臨床研修を受けることもできます。また、シニア終了後に、より高度な専門臨床能力を身につけたい方については、クリニカル・フェロー、アドバンスレジデントの道も用意されています。

● 東京医師アカデミーの体系 (令和3年度現在)

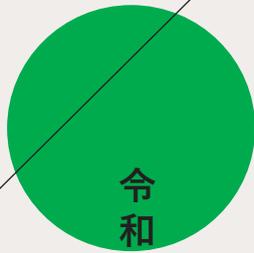


※1 東京都地域医療支援ドクターとは、東京都(福祉保健局)が地域医療の支援に意欲を持つ医師を採用し、医師不足が深刻な市町村公立病院等に一定期間派遣する事業
 ※2 東京都感染症医療支援ドクターとは、東京都(福祉保健局)が感染症医療に意欲を持つ医師を採用し、感染症の臨床または公衆衛生に携わる医師を養成する事業

東京医師アカデミーは都立病院と東京都保健医療公社病院の7,000床を超えるスケールメリットと豊富な症例を活かし、専門臨床研修について、カリキュラムの充実や指導体制の強化等を図り、これまで以上に、臨床を重視した質の高い医師を育成するシステムです。

東京医師アカデミーの詳細については、下記のホームページをご覧ください。

<https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/academy/>



令和4年度
応募資格

		広尾病院	大塚病院	駒込病院	墨東病院	多摩総合医療センター	松沢病院	
募集人員	医科	6名	6名	12名	14名	13名	8名	合計 59名
	歯科	1名	1名	1名	1名	1名	—	合計 5名
選考日程 (予定)	医科	9/11(土)	8/14(土)	8/14(土)	8/21(土)・22(日) ※webへ変更の可能性あり	8/14(土)	8/17(火)・21(土)	
	歯科	8/26(土)	8/20(金)	8/14(土)	9/11(土)	9/4(土)	—	
応募資格	令和4年施行の医師国家試験を受験する予定の方							
処遇 (令和3年度)	<p>[身分] 東京都医員(会計年度任用職員)</p> <p>[勤務形態] 月20日勤務(宿直あり)</p> <p>[有給休暇等] 1年目10日付与。他に夏季休暇等あり</p> <p>[報酬] 採用前に改定があった場合は、その定めによる。 月額約283,200円程度(宿直月4回の場合) 他に期末手当あり(予定額:1年目約46万円程度、2年目約61万円程度)</p> <p>[保険] 健康保険、厚生年金保険あり</p> <p>[宿舍] あり(詳細は、各病院にお問い合わせください。)</p>							
選考方法/ 出願方法及び時期	各病院のホームページをご覧ください。							
病院見学	各病院にお問い合わせください。							
ローテイト	所属病院での研修で不足する症例や、経験できない症例がある場合は、都立病院・公社病院の連携により補うことができます。							

注意事項 研修プログラム(募集人員及びスケジュールを含む)については、今後変更となる可能性があります。

都立 広尾病院

<https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/hiroo/>

広尾病院
ジュニアの情報は
こちらどうぞ！



病院の概要

救急・災害医療、島しょ医療、心臓病医療及び脳血管疾患医療に重点を置いた総合的な病院であり、「東京ER・広尾」を擁するほか、心臓循環器救急及び熱傷救急にも対応しています。都立病院の中では「災害医療センター」と位置づけられており、東京都の基幹災害医療センターとなっています。

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿二丁目34番10号
TEL 03-3444-1181

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般396 精神30

診療科目

血液内科、糖尿病内分泌科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、感染症内科、呼吸器科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、診療放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救命救急センター、救急診療科、内視鏡科、輸血科、検査科

研修プログラムの特徴

救急災害医療センターとして救急医療を重点医療としているため、多数の救急患者を経験でき、総合診療科、麻酔科、救命救急研修がセットで系統的に研修できるプログラムとなっています。また、総合診療基盤を有する地域の基幹病院として急性期医療を担うことから、一般臨床でほとんどすべての疾患、病態を経験することができます。

さらに、先進的な高度医療も経験することができ、多くの学会の認定教育施設になっています。ローテイト診療各科のカンファレンス、各種の教育研修行事に加え、指導医による集合講義、臨床病理検討会など幅広い研修機会を設けています。地域医療として島しょでの研修を行うことができるほか選択科目では関心のある診療科で専門性を深めることもできます。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科(消化器内科)	麻酔科
5月		
6月	内科(腎臓内科)	外科
7月		
8月	内科(循環器科)	救命
9月		
10月	総合救急診療科	精神科
11月	産婦人科・小児科	地域医療(地域/島しょ)
12月		
1月		
2月	選択	選択
3月		

*一般外来研修は、内科ローテイト時又は地域医療研修時に並行して研修を行う。

VOICE



研修責任者
腎臓内科部長
田島 真人 (臨床研修管理委員会委員長)

当院は、都立病院の役割として救急医療、災害医療、心臓医療、島しょ医療を担う病院です。救急医療としては『東京ER・広尾』を標榜し、一次救急から三次救急までを扱っています。皆さんには、ER(内科・外科・小児)、救命救急センターの研修を通して、Common diseaseから重症度の高い疾患まで幅広い経験を積んで頂きます。各科間の垣根が低く、横の連携の良い病院であり、救急・重症疾患対応のダイナミズムを経験して頂けると自負しております。また、年に数回ICLS、JMECCといった蘇生コースを開催しており、急変時対応の素養を磨くチャンスが沢山あります。その他、東京都23区内唯一の基幹災害拠点病院として災害医療の基礎を学べ、島しょ医療の一環として八丈島や小笠原諸島での研修を受けることができます。皆さん、我々と共に使命感を持って研修をしてみませんか？

VOICE



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント(R2採用)
新藤 薫

当院では初期研修医がリーダーとしてERでの1次、2次救急の対応にあたるため、鑑別診断を考え、必要な検査・診療をするための思考力を身に付けることができます。また指導医の先生方によって開かれる「集合講義」は実践的な知識ばかりで、すぐに実臨床に活用することができ、大変良い刺激となっています。

当院は東京都の島しょ医療の支援を担っており、急患搬送時のヘリ搭乗や離島研修では、院内で培った臨床能力を発揮する良い機会となります。また、当院で研修できない診療科は、都立・公社病院での研修も可能です。研修医同士は非常に仲が良く、ともに支えあいながら楽しく日々の研修を行っています。そんな当院の雰囲気を感じるためにも、ぜひ一度見学にお越しください。

都立 大塚病院

<https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/ohtsuka/>

大塚病院
ジュニアの情報は
こちらどうぞ！



研修プログラムの特徴

内科24週、外科、小児科、産婦人科、精神科(協力施設)各4週、救急12週(うち4週は協力施設でのER研修も選択可)、地域医療4週に加え、麻酔科8週を当院の必修プログラムとしています。一般外来4週は内科や地域医療などとの並行研修になります。自由選択期間には研修医自身が将来の希望やキャリア形成を考慮して診療科を自由に組み合わせることができ、そのような柔軟な対応が可能です。

全研修期間を通じて9~11系列の上級医とともに当直を行い、初期救急の現場における高い臨床能力を培うことができます。さらに各科のカンファランス、指導医によるクルズ、臨床病理検討会、院内発表会、各種学会での発表など幅広い研修機会を設けています。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	リウマチ	救急
5月	内科(腎臓)	内科(循環器)
6月	内科(呼吸器)	ER(墨東)
7月	麻酔科	新生児科
8月		
9月	外科	地域(新島)
10月	救急	小児科
11月	内科(消化器)	救命(墨東)
12月	内科(脳神経)	精神科(松沢)
1月	小児科	整形外科
2月	内科(糖尿病)	泌尿器科
3月	産婦人科	皮膚科

病院の概要

当院の重点医療は総合周産期母子医療・小児医療です。母体搬送や超低出生体重児の診療実績は都内有数です。地域中核病院として内科・外科をはじめとする総合診療基盤も充実しており、各種がん専門医による診断・治療から緩和ケアまで、リウマチ膠原病をはじめとする難病医療、地域医療との連携を重視した二次救急にも積極的に取り組んでいます。

〒170-8476 東京都豊島区南大塚二丁目8番1号
TEL 03-3941-3211

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般418

診療科目

内科、児童精神科、神経科、リウマチ膠原病科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、口腔科、診療放射線科、救急診療科

VOICE



研修責任者
内科医長
吉川 桃乃 (臨床研修管理委員会委員長)

当院は20年以上にわたりローテーション研修による人材の育成に力を注いでおり、充実した診療基盤とスタッフ間の顔の見える関係の両立が際立つ病院です。横の連携がよくフレンドリーな雰囲気で行うことができます。十分な common disease の経験に加え、重点医療についての一歩進んだ研修を受けることもできます。常に意欲的に学べるよう、指導医を始めその他の職員が全員でサポートし、オールラウンドな診断能力、チーム医療を通じて患者を治療していく力を育みます。当院で充実した2年間を送ってみませんか。

VOICE



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント(R2採用)
川崎 竜人

大塚病院は約420床の中規模病院で数多くの診療科を展開しているため、新生児から高齢者までの common disease を幅広く経験することができます。また上級医をはじめ、スタッフの方々はみなフレンドリーで非常にアットホームな雰囲気です。加えて、研修医が科の垣根を超えて上級医へ質問をすることもでき、充実した研修が行えます。週に1回の勉強会や年に2回の院内の症例発表会があるため、教育体制も整っています。ぜひ一度見学に来て、ここだけでは伝えきれない当院の魅力や研修の雰囲気を味わってもらえたら嬉しいです。大塚病院でお待ちしております。



- (1) 内科系コース、外科系コースを設定しています。
- (2) 内科系コースは消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌に加え、腫瘍内科、感染症科、総合診療科など専門性の高い研修ができます。2か月の自由選択枠を設けています。
- (3) 外科系コースは外科(食道、胃、大腸、肝胆膵、呼吸器、乳腺)を6か月ローテートします。自由選択枠も3か月あり外科系診療科から選択可能です。
- (4) 救急部門、小児科、産婦人科など当院で経験が難しい部門は、連携する都立病院で研修できます(広尾病院、墨東病院、大塚病院、小児総合医療センターなど)。
- (5) 内科系、外科系ともに初期研修から後期研修(新専門医制度)、サブスペシャリティと縦に繋がる研修ができます。

研修スケジュール(例)

	● 内科系の1例		● 外科系の1例	
	1年次	2年次	1年次	2年次
4月	内科(1)	内科(6)	外科	選択
5月	内科(2)	選択(1)		選択
6月	総合診療科	選択(2)	内科(1)	外科
7月		地域	総合診療科	
8月	広尾ER	外科	広尾ER	選択
9月	内科(3)			内科(4)
10月	内科(4)	内科(7)	麻酔科	内科(5)
11月	小児科	精神科		外科
12月	産婦人科	内科(8)	小児科	
1月	麻酔科	内科(9)	産婦人科	地域
2月		内科(10)	内科(2)	精神科
3月	内科(5)	内科(11)	内科(3)	内科(6)

※選択1：内科9科、腫瘍内科、感染症科の11科、および墨東病院ER、墨東病院救急救命センターから選択
※選択2：臨床検査科(超音波)を除く各診療科

※外科系の内科ローテーション：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病内科、感染症科
※外科：食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器

病院の概要

各診療科の総合基盤を備えた、がんと感染症を重視した病院です。臓器別、疾患別に37の診療科に分かれ、それぞれ先端的の専門医療を提供しています。各診療科が協力して重症患者の診療、全人的医療を行っています。平成19年8月に「エイズ診療中核拠点病院」、平成20年2月に「都道府県がん診療連携拠点病院」、平成25年10月に「造血幹細胞移植推進拠点病院」、令和元年9月に「がんゲノム医療拠点病院」に指定され、全国から多数の患者を集めています。

〒113-8677 東京都文京区本駒込三丁目18番22号
TEL 03-3823-2101

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般803 感染症30

診療科目

内科(消化器、呼吸器、循環器、脳神経、血液、腎臓、肝臓、膠原病、糖尿病・内分泌)、総合診療科、腫瘍内科、緩和ケア科、精神腫瘍科・メンタルクリニック、小児科、外科(食道、肝胆膵、胃、大腸、乳腺、呼吸器)、整形外科、リハビリテーション科、骨軟部腫瘍科、脳神経外科、皮膚腫瘍科、形成再建外科、腎泌尿器外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍外科、感染症科、感染制御科、遺伝子診療科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線診療科(診断部、治療部)、輸血・細胞治療科、内視鏡科、病理科

VOICE



研修責任者
副院長
八杉 利治
(プログラム責任者)

当院は下町風情が漂う谷根千(やねせん)地区に隣接する高台に位置しています。都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院、造血幹細胞移植推進拠点病院、エイズ診療中核拠点病院としての専門各科と、それを支える一般診療各科が充実しています。臨床研修には恵まれた環境です。経験豊富な各診療科スタッフや先輩レジデントたちが熱心に指導してくれます。意欲のある皆さんを心からお待ちしております。

VOICE



内科系ジュニアレジデント経験者
シニアレジデント(R3採用)
内藤 裕

私は感染症やがんに興味を持っていたことと、病理科志望で、駒込病院の病理部が充実していたことから初期研修先として都立駒込病院を選ばせていただきました。また見学したときに初期研修医の先生方や研修医室の雰囲気が好きだったことも研修先として選んだ一因でした。実際に研修してみて、科によっては、がんだけではなく炎症性疾患や市中の一般感染症も他病院と同じように勉強することができるのとてよかったと思っています。

VOICE



外科系ジュニアレジデント経験者
シニアレジデント(R3採用)
船津 のぞみ

駒込病院での外科研修は、1年次から指導医による手厚い指導下にて手術を執刀する機会が豊富にあり、腹腔鏡手技の実習など実践に向けた経験も多く積むことができます。市中病院の利点でもある豊富な経験や知識の獲得だけではなく、大学病院で特徴的な学会発表や論文執筆の機会もありアカデミックな側面も持ち合わせています。切磋琢磨しつつも楽しく、充実した研修生活を過ごしています。ぜひ、一度見学にきてください。

都立 墨東病院

<http://bokutoh-hp.metro.tokyo.jp/>

墨東病院
ジュニアの情報は
こちらどうぞ！



病院の概要

墨東病院は東京都の東部地区に位置し墨田、江東、江戸川、葛飾区の100万人以上の住民をカバーする総合病院です。都立病院の中では広域基幹病院の役目を担い、地域においては都心でありながら大学病院等とは趣が異なり、“あらゆる救急に対処し、かつ基幹病院としての専門性も追求していく”ことが墨東病院の使命です。

〒130-8575 東京都墨田区江東橋四丁目23番15号
TEL 03-3633-6151

※見学をご希望の方はホームページをご覧ください。

病床数

一般719 精神36 感染症10

診療科目

消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、総合診療科、循環器科、神経科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、新生児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、リウマチ膠原病科、歯科口腔外科、感染症科、救急診療科、救命救急センター、麻酔科、診療放射線科、輸血科、内視鏡科、病理診断科

研修プログラムの特徴

- (1) 1年次は、内科5～6か月、ER(救急医療研修)2か月とともに、外科、麻酔科は必修とし、小児科・産婦人科・精神科を研修する場合があります。
- (2) 内科は①消化器②呼吸器③循環器④血液⑤腎臓・膠原病⑥内分泌・脳神経⑦感染症の7グループでの研修とします。
- (3) 救急医療研修3か月については1年次の2か月間ERでの日中の診療と、2年次に月4回のER当直を従事することで3か月の研修とします。
- (4) 2年次は、1年次の内科必修残、地域医療、小児科・産婦人科・精神科(1年次で研修を行っていない場合)、一般外来1か月は全員が必修で、残りの自由選択については各々の将来志望診療科・要望に応じて相談の上、設定していきます。

研修スケジュール(例)

	1年次	2年次
4月	内科(7グループの内3グループをローテート)	小児科
5月		産婦人科
6月		精神科
7月		一般外来
8月		地域
9月	ER(救急)	自由選択
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	外科	
3月		

※詳しくはホームページをご参照ください。

VOICE



研修責任者

内科医長

藤ヶ崎 浩人 (臨床研修管理委員会委員長)

「その患者さん、困ってるんだろ。だったら四の五の言わずに何とかしてやろうじゃねえか。」

優れた知識と技術を有し、熱意と情愛にあふれる医師の育成が当プログラムの基本的理念です。日常的疾患から高度専門医療まで幅広い領域の診療を行う当院は、医師としての地歩を築くには最適な環境です。また当院は専門医コースに関しても多くの基幹プログラムを有していますので、引き続き新専門医制度下での研修を受けることも可能です。

VOICE



ジュニアレジデント

ジュニアレジデント(R2採用)

宮崎 玄基

当院は23区東部の総合病院であり、多様性に富んだ数多くの症例を経験することができます。ERや病棟では研修医が主体的に診療を行う環境があり、教育的な指導医やシニアレジデントと相談しながら適切な診療を実践することができます。

当院での研修は、所謂「ハイパー」とわれがちですが、仕事に忙殺されプライベートの時間を確保できないということはありません。恵まれた環境の中で、全国から集まる同志とともに、医師としての礎を築く上で非常に重要な初期研修医の2年間を過ごしませんか。皆様の見学をお待ちしております。

都立 多摩総合 医療センター

<https://www.fuchu-hp.fuchu.tokyo.jp/>

多摩総合医療センター
ジュニアの情報は
こちらからどうぞ！



研修プログラムの特徴

本物の実力をつけたい方のための教育環境

- (1) プライマリ・ケア（6年間一貫教育）
- (2) コア・カリキュラムの実施
- (3) 年次別到達目標：(J1) 単独診療能力、(J2) 主治医能力
- (4) 総合診療能力の修得（2年間の救急外来研修）
- (5) 「けが」診療能力の修得
- (6) 独自の評価システム（救急外来グレード試験）
- (7) 予備枠（補修研修プログラム・拡張研修プログラム）の創設

研修スケジュール（例）

	1 年次	2 年次
4月	救急外来	呼吸器
5月	脳外	
6月	麻酔科	精神科
7月		予備枠
8月	消化器	救命救急センター
9月		産婦人科
10月	放射線	小児科
11月	総合診療	
12月	循環器	救急外来
1月		内分泌
2月	外科	整形
3月		地域

病院の概要

多摩地域における唯一総合的な医療機能を持つ都立病院として、救急医療、脳血管疾患医療、生活習慣病医療、難病医療、リハビリテーション医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療及び造血幹細胞移植医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施しています。

〒183-8524 東京都府中市武蔵台二丁目8番29号
TEL 042-323-5111

病床数

一般705 精神36 結核48

診療科目

総合内科、腎臓内科、消化器内科、内視鏡科、内分泌代謝内科、感染症科、緩和ケア科、血液内科、脳神経内科、神経・脳血管内科、呼吸器・腫瘍内科、循環器内科、精神神経科、外科、乳腺外科、呼吸器外科（胸部外科）、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ膠原病科、リハビリテーション科、診療放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理・検査科、救急総合診療センター、救命救急センター

VOICE



研修責任者

眼科部長

大野 明子（臨床研修管理委員長・プログラム責任者）

初期研修プログラムの選択に悩んでいる医学生の皆様へ
長い医師のキャリアのスタートという一生記憶に残る大切な時期を全国に多数ある初期研修プログラムのどれで過ごすか、難しい選択だと思えます。

ぜひ目先のことではなく、将来どのような医療人になりたいか、よく考えてください。そのうえで、最初の2年間はしっかりプライマリケアを習得したいと決心したら、東京都立多摩総合医療センターをお勧めいたします。温かい、かといって生ぬるくはない研修環境は見学に来ていただくと感じ取れると思えます。

VOICE



ジュニアレジデント

ジュニアレジデント（R2採用）

内和田 英人

多摩総合の研修プログラムは必修科が多いことが特徴です。それは、プライマリケアに必要な基本的臨床能力を身に着けるために確立されたプログラムであるといえます。将来の志望科が決まっていなくても、志望科が決まっている方にこそおすすめする研修プログラムだと思えます。

全国各地から集まった同期から毎日良い刺激を受けられることも魅力の一つです。見学の際には是非、研修医の和気あいあいとした雰囲気を感じていただければと思います。

都立 松沢病院

<https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/matsuzawa/>

松沢病院
ジュニアの情報は
こちらどうぞ！



研修プログラムの特徴

総合診療基盤を有する大規模精神科病院を基幹病院とするプログラムです。精神科医と、内科や外科などの指導医が、協同して指導にあたることにより、特に将来、精神科を志す者に必要な、総合的診療力を養成します。

研修期間を通じて、カンファレンス、講演会、当直等様々な機会に、精神科診療の実際に触れることができます。身体科の研修も非常に充実しており、内科、外科、麻酔科や放射線科については基幹病院で、熱心な指導医からマンツーマンに近い指導を受けることができます。また都立病院および東京都保健医療公社病院の強力なネットワークを背景に、救急医療、小児科、産婦人科、その他専門的診療科についても、人気の研修病院で研修ができます。

研修スケジュール(例)

	1 年次	2 年次
4月	精神科	精神科
5月	内科	内科
6月	外科系	
7月		小児科
8月	内科	産婦人科
9月	麻酔科	多摩ER
10月	内科	
11月		
12月	消化器外科	地域医療
1月	放射線科	選択
2月	内科	
3月	精神科	

病院の概要

当院は1919年開院の歴史を有しながら常に日本の精神科医療を牽引してきました。緑豊かな広大な敷地と最新の施設を有し、急性期精神科医療を中心とした専門性の高い精神疾患に対応すると共に、他の医療機関や保健・福祉施設などとの密接な連携を推進し、東京都における精神科医療の拠点としての役割を果たしています。

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢二丁目1番1号
TEL 03-3303-7211

※見学等のお問い合わせは庶務課臨床研修担当まで

病床数

精神808 一般90

診療科目

精神科・内科・外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・放射線科・歯科・検査科

VOICE



研修責任者
整形外科医長
吉田 滋之 (初期臨床研修管理委員長)

松沢病院では、「世界を代表する精神科医師・身体疾患にも強い精神科医師」の育成を目標に研修プログラムを作成しております。一般科医師と精神科医師は同じ医局内で患者の相談がしやすい環境に身を置き、患者の立場に立ってより良い医療を提供してゆこうという方向で一致団結しています。広大な敷地には自然が豊かで、歴史と伝統もありますが、日本を代表する精神科病院として新しい精神医療のあり方も発信し続けています、ぜひ一緒に働いてみませんか？

VOICE



ジュニアレジデント
ジュニアレジデント (R2採用)
神谷 拓実

松沢病院は「身体も診ることのできる精神科医」の育成を目標に掲げており、初期研修から精神医療に関わりつつ総合的な研修ができます。内科をはじめとする身体科では、ほぼマンツーマンの形できめ細やかな指導を受けられ、精神科では先生方の診察を間近に拝見する貴重な機会に多く恵まれています。何より、精神医療への高い志をもった同期と共に過ごし、語りあう時間はかけがえのないものです。皆さんも松沢病院で精神科医への第一歩を踏み出しませんか。

都立病院一覧

● 都立広尾病院	☎ 03-3444-1181	https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/hiroo/
● 都立大塚病院	☎ 03-3941-3211	https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/ohtsuka/
● 都立駒込病院	☎ 03-3823-2101	https://www.cick.jp/
● 都立墨東病院	☎ 03-3633-6151	http://bokutoh-hp.metro.tokyo.jp/
● 都立多摩総合医療センター	☎ 042-323-5111	https://www.fuchu-hp.fuchu.tokyo.jp/
● 都立神経病院	☎ 042-323-5110	https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/tmnh/
● 都立小児総合医療センター	☎ 042-300-5111	https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/shouni/
● 都立松沢病院	☎ 03-3303-7211	https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/matsuzawa/

※神経病院、小児総合医療センターでは初期臨床研修を実施していません。



東京都病院経営本部経営企画部職員課

<https://www.byouin.metro.tokyo.lg.jp/academy/>

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁 第一本庁舎24階中央 電話番号 03-5320-5861 FAX 03-5388-1435



令和3年6月発行

登録番号3(9)